

佐伯港

大分県土木建築部港湾課

〒870-8501 大分市大手町3-1-1

☎097-536-4614(代)

URL : <https://www.pref.oita.jp/soshiki/17300/>



1. 概況

佐伯港は、県南部特有のリアス式海岸により形成され、湾口はほぼ東に向いており、豊後水道を経て高知県と対峙している。地形、水深にめぐまれた天然の良港として、旧藩時代から外国との交易もあり、また、近隣離島及び沿岸域との交通の要衝として繁栄してきた。

昭和9年女島地区に海軍航空隊が開設、昭和12年鶴谷防備隊が設置され、この間軍用施設として、葛・鶴谷地区に防波堤、接岸施設等が整備された。さらに昭和16年葛地区に埠頭が完成し、阪神地区との貨物の流通が始まった。

戦後、これらの軍用施設の転用により、木材、セメントを主とする各種企業の立地、施設拡充が進み、併せて背後地産業も逐次発達してきた。また、本港は戦前より木材の集散地として重要な地位を占めており、昭和29年開港に指定、同年12月植物防疫港の指定、また、昭和37年9月太平洋、ガルフ運賃同盟のアウトポートに認定されて以来、全国木材需要の急速な伸びにともない、外材の輸入量は増加の一途をたどってきた。

このように港勢の進展の中で、昭和34年度より港湾整備事業に着手し、各種港湾施設の拡充がおこなわれてきた。一方、パルプ、造船、セメント、合板等の企業の規模拡大も相次いで行われ、わが国経済の高度成長とともに、臨海工業地帯を形成するに至った。これにともない、港湾取扱い貨物量及び年間入港船舶は急激に増加し、また、出入港船舶の大型化も進んだ。

昭和45年5月重要港湾に指定されたが、天然の良港として利用するだけでは外材の輸入量の増加に対処することができなくなり、大型木材船を対象とした接岸施設、ならびにこれらに付帯した陸上施設の要請がおこった。しかしながら、港内各地区はほとんど既存の臨海企業で占められているため、

女島地区を木材専用埠頭として整備を進めてきた。昭和46年に佐伯～宿毛間のフェリー航路が就航を開始した。昭和46年7月港湾計画を策定し、それにもとづき女島地区に15,000トン級の船舶を対象とした水深10m岸壁2バース、埠頭用地6ha、坂の浦地区沖合に2万トン級の船舶を対象とした係留浮標1基を昭和53年度までに完成し、木材の取扱い貨物量の増加に対処してきた。

鶴谷地区は原木、金属機械、砂・砂利等の内貿貨物を取扱うため、2,000トン級の船舶を対象とした水深5.5m岸壁5バース、埠頭用地4haを昭和57年度に完成した。

葛地区は、大入島をはじめ離島を結ぶフェリーや連絡船の接岸施設が整備されている。また、船舶の大型化に伴い、フェリー2,000トン級を対象とした水深5.5m岸壁1バース、埠頭用地1.9ha、及び臨港交通施設が完成した。

平成5年8月に改訂した港湾計画では、船舶の大型化による輸送効率化に対応するため、女島地区に国際物流ターミナルとして水深14m岸壁等を位置づけ、平成26年3月には水深14m岸壁1バース、埠頭用地3.6haが完成した。これにより、九州東岸ではバルク貨物を取り扱う最大水深の公共バースとなり、広域なバルク貨物の輸入拠点としての利用が期待されている。

また、水深14m岸壁と水深10m岸壁との間に存在した未整備区間が平成30年3月に完成し、720mの連続岸壁となり、物流の効率化が図られた。

加えて、本港背後圏では、東九州自動車道等の高速交通ネットワークの整備が急速に進捗し、平成28年4月には北九州市～宮崎市が直結した。これにより、本港は大分県南地域の流通拠点として、さらに重要な機能を果たすと考えられるため、流通機能の高度化に対応した埠頭用地の拡張等、港湾機能の更なる強化を図ることとしている。

2. 港勢

入港船舶

トン数別 種別	合計		30,000総トン以上		10,000総トン以上 30,000総トン未満		6,000総トン以上 10,000総トン未満	
	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数
外航商船	57	602,178	1	31,540	21	403,299	10	89,113
内航商船	1,520	354,529						
自航 その他	9,289	163,079						
合計	10,866	1,119,786	1	31,540	21	403,299	10	89,113

トン数別 種別	3,000総トン以上 6,000総トン未満		1,000総トン以上 3,000総トン未満		500総トン以上 1,000総トン未満		5総トン以上 500総トン未満	
	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数
外航商船	4	15,599	21	62,627				
内航商船	10	42,212	4	6,532	293	209,836	1,213	95,949
自航 その他	1	4,342	2	5,400	30	22,024	9,256	131,313
合計	15	62,153	27	74,559	323	231,860	10,469	227,262

最大入港船舶のトン数 総トン(喫水 m)

海上出入貨物

品種 項目	合計		農水産品		林産品		鉱産品		金属機械工業品	
	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%
輸出	62,084	100.0			62,002	99.9			82	0.1
輸入	403,541	100.0			300,963	74.6	102,578	25.4		
計	465,625	100.0			362,965	78.0	102,578	22.0	82	0.0
移出	157,573	100.0			7,969	5.1	29,562	18.8		
移入	236,613	100.0			503	0.2	71,190	30.1	51,972	2.0
計	394,186	100.0			8,472	2.1	100,752	25.6	51,972	13.2
合計	859,811	100.0			371,437	43.2	203,330	23.6	52,054	6.1

品種 項目	化学工業品		軽工業品		雑工業品		特殊品		分類不能のもの	
	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%
輸出										
輸入										
計										
移出	120,042	76.2								
移入	112,948	47.7								
計	232,990	59.1								
合計	232,990	27.1								

外貿コンテナ貨物取扱量

項目	フレートトン	TEU	
		実入り	空コン
輸出			
輸入			

乗降人員

	合計	乗込人員	上陸人員
外国航路			
内国航路	7,198	3,620	3,578
計	7,198	3,620	3,578

3. 港湾施設

区分 埠頭名	けい船施設					荷さばき施設					主な 取扱貨物
	バース名	前面水深 (m)	延長 (m)	最大 けい船 能力 (DWT)	船 席 数	荷役機械			上屋		
						機械名	揚力 (t)	基数	棟 数	使用 面積 (㎡)	
(公 共)											
葛 埠 頭	-4.5 m 岸 壁	4.5	130	700	2				1	1,382	フェリー貨物
	-5.5 m 岸 壁	5.5	115	2,000	1				1	400	
鶴 谷 埠 頭	-5.5 m 岸 壁	5.5	450	2,000	5				1	258	砂利・砂・鋼材
女 島 埠 頭	物資別専用埠頭	10.0	370	15,000	2						原木・薪炭 石炭・薪炭
	- 14 m 岸 壁	14.0	280	55,000	1						
(私 設)											
太平洋セメント(株)	1 号 岸 壁	6.6	120	4,000	1	旋回式エアレー ションコンベア	1,000	1			現在未使用
	2 号 岸 壁	9.0	80	10,000	1						
	1 号 棧 橋	9.0	70	10,000	1	固定式 すべり出し式 橋形C	1,000	2			
	2 号 棧 橋	7.0	80	2,000	2	ダブルリンク式 引込C	110	1			
	3 号 棧 橋	5.0	105	2,000	2	旋回式エアレー ションコンベア	1,400	1			
	4 号 棧 橋	5.0	105	2,000	2	ダブルリンク式 引込C	436	1			
興 人 (株)	岸 壁	5.0	61	1,000	1						チップ

保 管 施 設		
区 分	棟数	面積・容量
野積場 (木材)	-	55,100㎡
(砂・砂利・他)	-	35,800㎡
普通倉庫		
1~3類倉庫	1	714㎡
危険品倉庫	11	4,677kℓ
野積倉庫	-	-
貯蔵倉庫(サイロ)	1	1,776 m
冷蔵倉庫	-	-
水面倉庫(貯木場)	-	-

泊 地		
区 分	水深(m)	面 積 (㎡)
錨泊地	-	-
はしけ溜	-	-
木材投下泊地	-	-
危険物泊地	-	-

港 湾 関 連 施 設	
名 称	延床面積 (㎡)
佐伯港県営 葛1号上屋	177
佐伯港県営 葛2号上屋	400
佐伯港県営 鶴谷上屋	258
佐伯港県営上屋	1,382

臨 港 交 通 施 設	
名 称	総延長 (m)
臨港道路	5,358
新交通・鉄道	-
ヘリポート	-

4. コンテナターミナルの概要

該当なし

5. マリーナ

該当なし

6. 緑地

区 分 名 称	面 積 (㎡) (植栽率-%)	水際線延長 (m)	緑地タイプ	竣工年度	施 設	
					利 用 施 設	附 属 施 設
女島公園	2,270 (45)	-	休息緑地	昭和49年度	テーブルベンチ	便所、水飲場、照明灯
港口マンパーク	4,578 (10)	-	シンボル 緑地	平成元年度	ベンチ	便所、パーゴラ

7. 基地港湾

該当なし

8. ポートサービス

港湾運送

名称	所在地	電話番号	業種				
			一般	港湾荷役 (一貫)	船内	沿岸	はい し け だ
株式会社ジェネック佐伯支店	〒876-1105 佐伯市海崎3596-1	0972-27-8611	○				○
日本通運(株)大分支店佐伯営業所	〒876-0811 佐伯市鶴谷町2丁目3-32	0972-22-2721		○			
吉田港運(株)	〒876-0811 佐伯市鶴谷町2丁目3-32	0972-23-5555		○			

曳船

名称	所在地	電話番号	馬力	隻数
豊海運(株)	〒876-0801 佐伯市葛港13-9	0972-22-2356	常豊丸 3,600PS 第35常栄丸 3,600PS 第26白杵丸 1,800PS 第2ゆたか丸 1,700PS 竜豊丸 1,100PS	5
大分曳船(株)	〒876-0806 佐伯市春日区8-26	0972-22-1812	誉田丸 3,600PS	1

通船

名称	所在地	電話番号	隻数
豊海運(株)	〒876-0801 佐伯市葛港13-9	0972-22-2356	1

9. 関係出先官公署

名称	所在地	電話番号
門司税関大分税関支署佐伯出張所	〒876-0811 佐伯市鶴谷町2-3-30(佐伯港湾合同庁舎内)	0972-25-0059
門司検疫所佐伯出張所	〒876-0811 佐伯市鶴谷町2-3-30(佐伯港湾合同庁舎内)	0972-22-1982
門司植物防疫所佐伯出張所	〒876-0811 佐伯市鶴谷町2-3-30(佐伯港湾合同庁舎内)	0972-23-0069
佐伯海上保安署	〒876-0811 佐伯市鶴谷町2-3-30(佐伯港湾合同庁舎内)	0972-22-4999
大分県佐伯土木事務所	〒876-0813 佐伯市長島町1-2-1	0972-22-3171

